

6.3.生物調査

④ アサザ調査

調査結果概要 平成 18 年度のアサザ群落の面積および実生数共に、平成 17 年度に比べ減少していた。

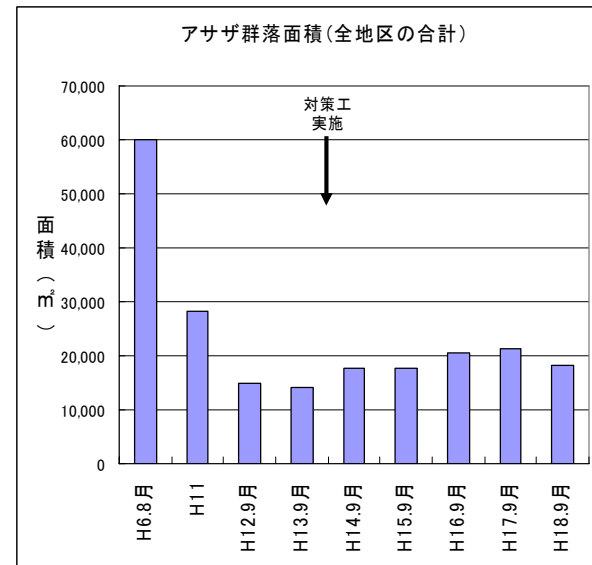
調査内容

実生分布調査 春季(5月) 秋季(9月)に 15 地区で実施。現地踏査による実生数の確認を行った。
アサザ現況調査 秋季(9月)に 10 地区で実施。既存のアサザ群落の面積、開花数の測定、底質・水深の計測を行った

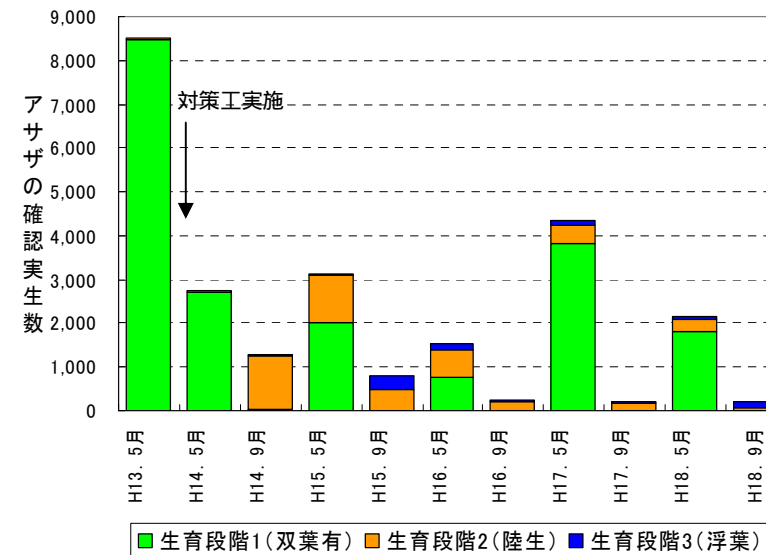
調査結果

- ・ H18 年 5 月のアサザ実生の発芽数は H17 年度と比較して減少していた。また、9 月の定着個体数は昨年同様非常に少なかった。
- ・ H18 年度のアサザ群落の面積は、H17 年に比べ減少していた。また、大島と息栖西では H17 年度にアサザの群落が確認されたが H18 年度は消失していた。
- ・ H18 年度のアサザの開花数はほとんどの地区で H17 年度と比較して減少していた。梶山および麻生では同じ地区内に受拵によって種子が生産される短花柱花および長花柱花の両方が存在した。

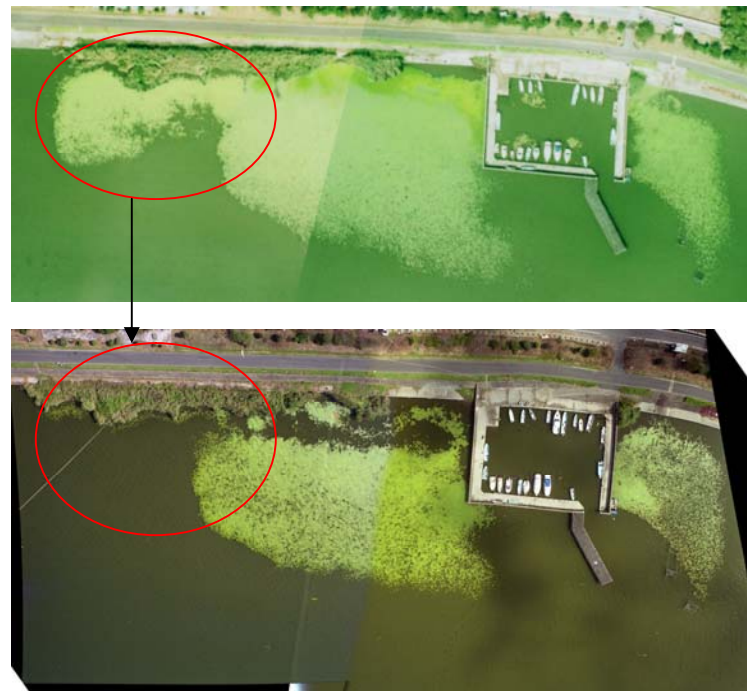
既存アサザ群落の面積の経年変化(調査地区全体)



アサザの確認実生数の経年変化(調査地区全体)



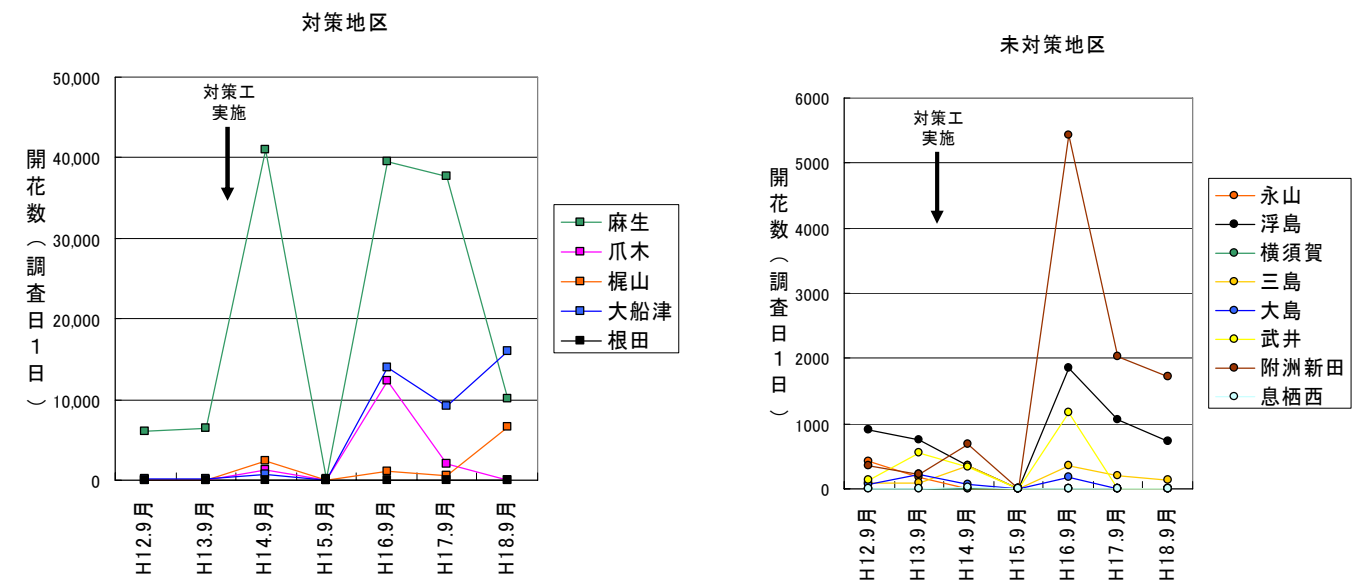
アサザ実生の生育段階区分
 (生育段階 1)： 双葉が確認でき、芽生えて間もないと考えられる個体。
 (生育段階 2)： 双葉が確認できず、芽生えてからある程度の期間が経ち、定着したと考えられる個体。ただし、浮葉化はみられない。切藻から定着した個体である可能性もある。
 (生育段階 3)： ある程度の期間の生育段階 2 を経た後、浮葉化したと考えられる個体。



H17.9月 麻生

H18.9月 麻生

アサザの開花数の経年変化(調査地点毎)



6.3.生物調査

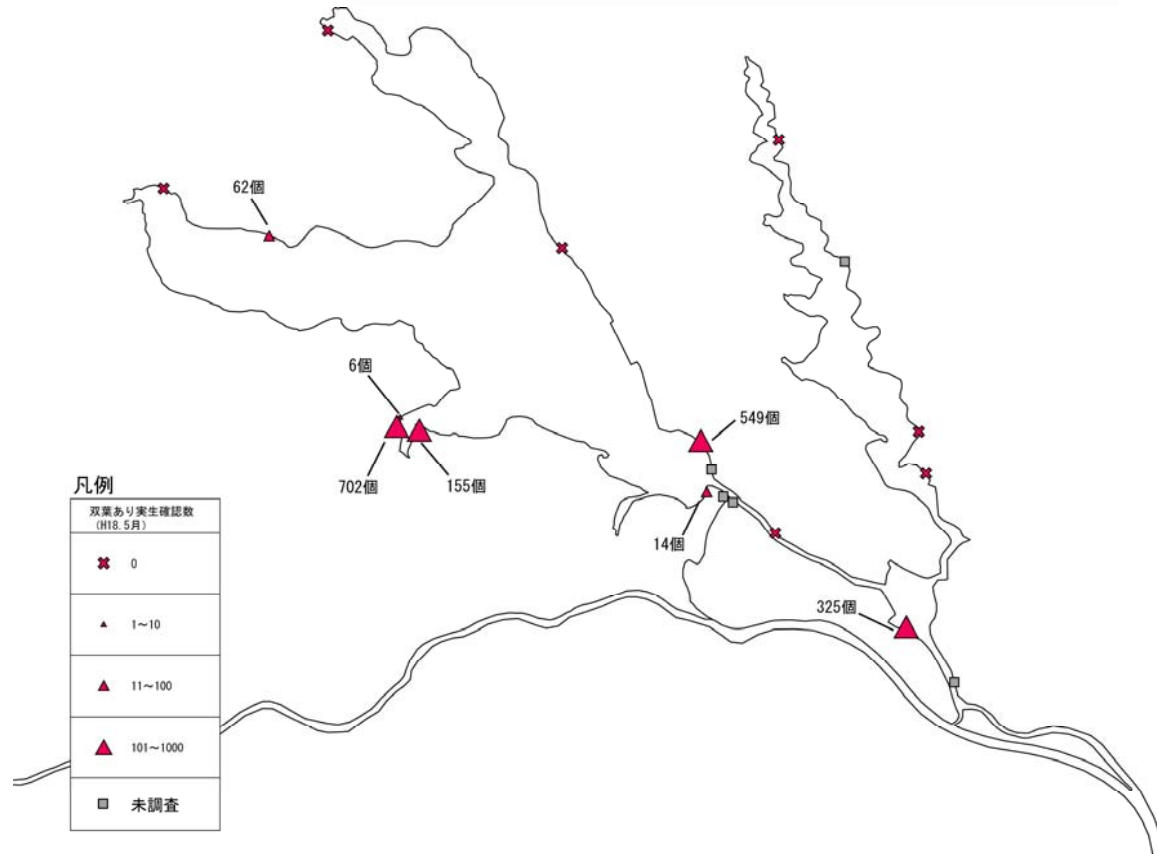
④ アサザ調査

H18年度 アサザ調査結果

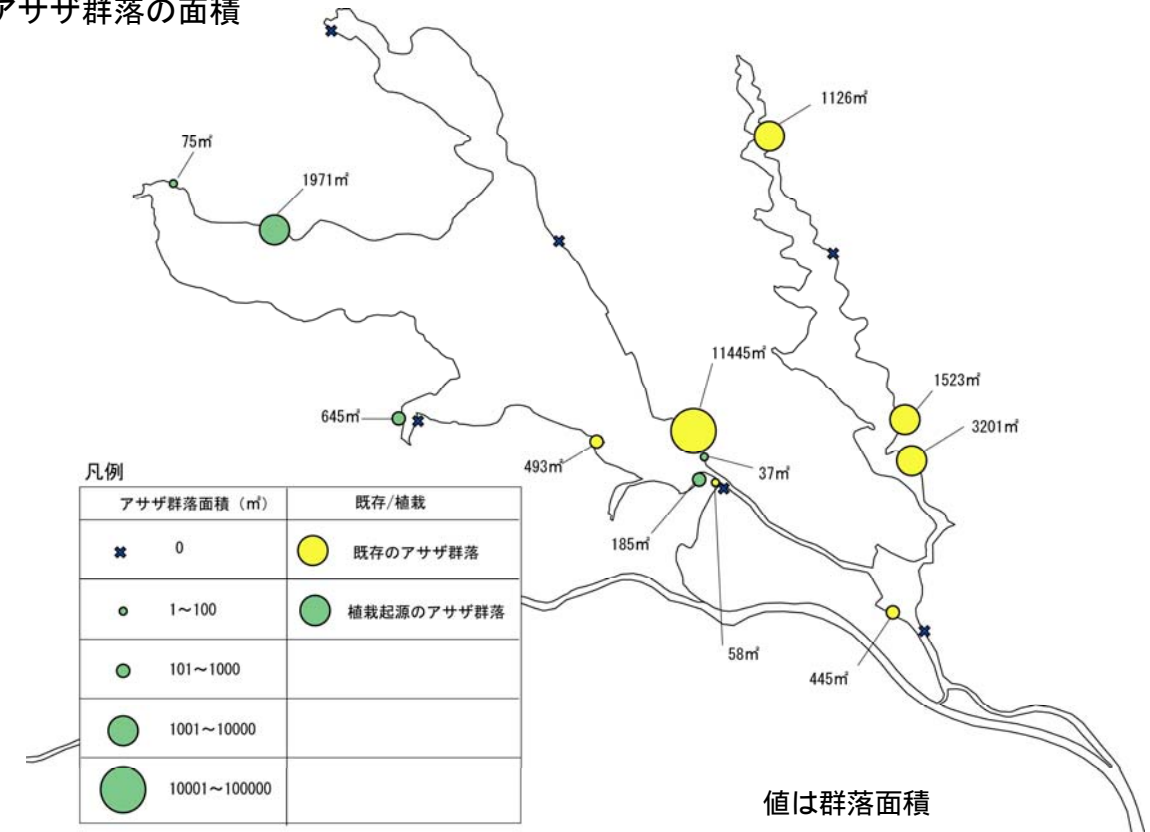
●アサザ調査実施地点



●アサザ実生(双葉あり)の確認数



●アサザ群落の面積



●アサザの開花状況

